

【表題】2017UHMS レポート：東京医科歯科大学高気圧治療部小柳津卓哉先生が、UHMS President's awards: Best Resident/Trainee Oral Presentation を受賞。

受賞者からの報告

2017年6月28日-7月1日にアメリカフロリダ ネープルズで開催された Undersea and Hyperbaric Medical Society (UHMS：国際潜水・高気圧医学会)において President's awards: Best Resident/Trainee Oral Presentation を受賞いたしました。受賞内容ですが、「圧挫損傷後の骨格筋において、高気圧酸素治療が炎症反応のピークアウトを早め、マクロファージの浸潤を促進することで筋衛星細胞を活性化し、筋再生を促進する。」ことを動物実験で証明し報告いたしました。骨格筋の損傷後において高気圧酸素治療は炎症を早く収束させることで、炎症後の再生期を早める効果があり、結果的に骨格筋損傷からの回復を早めることができることがわかりました。今後も本研究を発展させ、世界の高気圧酸素医学に寄与する所存です。